

「春の新宿御苑」

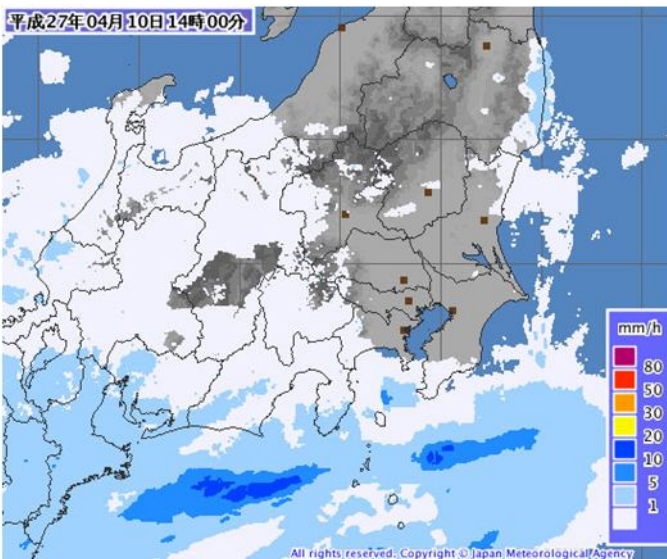
お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

今日は遠足で、新宿御苑に行った。こんな新学期にイキナリ遠足に行く学校は珍しいので、子どもの団体は我々だけだった。



「太陽にかかった高層雲」 天候悪化の兆し

朝から寒く、天気も曇り。南岸の前線、東進する低気圧、それに房総半島の雨雲が西進し、予報では正午ごろから雨。しかし、春の雨の予報は難しく、概して辛めに発表されることが多い。高層天気図や雨量解析予測から、解散時刻の午後2時までは降らないと判断、学年主任と相談して決行した。この判断は正解で、新宿の雨は解散直後の14:30頃から降り出した。



「10日14時の雨量解析」 東京都内は辛うじて曇り。



「新宿御苑入口」 入場料は子ども45円と激安。

新宿駅に近い「新宿門」には、開門前から多くの人が並んでいた。特に外国人に人気のある観光名所になっている。新緑の大木が美しい景観を創っている。



「新緑の小道」 少し寒いが、すがすがしい気分。

この時期の園内は実に美しい。落葉樹の多くは、新緑の時期を迎えている。常緑樹はどうかというと、やはり今の時期に新芽を出す種類が多い。たとえば、シラカシ(白樫・ブナ科・ドングリがなる常緑広葉樹)は、新しい葉を出すと同時に、冬の間がんばっていた硬い葉を大量に落とす。枝に少し手を触れただけで、ポロっと葉が落ちてしまう。サクラもまだまだたくさん咲いていた。園内の花や植物については、また少しずつ紹介したいと思う。(つづく)